

臥竜塾の教え 新宿せいが子ども園_保育実践ブログ 卒園までに育てたい「10の姿」

第75号 2018年8月6日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

臥竜塾の教えHP

「臥竜塾」とは、新宿せいが子ども園の藤森園長を塾頭に、
主に新宿せいが子ども園の男性職員の先生方で構成されている
勉強会です。

外部臥竜塾生として、新宿せいが子ども園以外の保育士さんも
所属され、日々の保育の中で学んだことや、具体的な保育事例が
数多く掲載されています。

臥竜塾の教え：namagaryujuku.com/

今回は、そのブログ記事の中から「卒園までに育てたい10の姿」に
ついて保育事例を交えて紹介されている記事がありましたので、
こちらのブログでも、ご紹介させて頂ければと思います。

「10の姿①」（健康な心と体）

平成30年度より施行される新しい保育所保育指針の中に「幼児期の終わり
までに育って欲しい姿」として、10の項目が新たに追加されました。どれ
もとても大切なことが書かれてあると思うのですが、文章だけを読んでもい
まいちどのような姿なのか私自身、ピンとこない感じがありました。ですの
で、この場で、文章と現場での様子を自分なりに照らし合わせて、どのよう
な場面のことを言っているのだろうかと考えて、より理解していきたいとな
と思いました。

よく分からないことを言ってしまうかもしれませんが、その時はコメントし
ていただけると助かります笑



臥竜塾の教えHP



まずは、アの「健康な心と体」ということで、「保育所の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる」とあります。

まず、「充実感」とはどういう意味なのだろうと思ったので、辞書で調べてみました。すると、「心が満たされている、満ち足りているという心情」とありました。次に心が満たされているというのはどういうことだろうかと考えてみました。満たされているというのは、子どもの欲求が適切に満たされているということに繋がるように思います。指針の中に情緒の安定という言葉がありますが、この情緒の安定は子どもの欲求が適切に満たされていることで、安定すると藤森先生がお話しされていました。子どもの欲求が満たされているというのは、それぞれの子どもの発達にあった環境が用意されているということになると思います。

子どもはこのような心が満たされることで、自分のやりたいことに向かって挑戦していけるのだと思うと、この充実感というのは信頼できる大人に見守られながら、いつも自分の欲求に応じた活動ができていること、発達にあった環境があるということになるのではないのでしょうか。

だとするとその姿は0歳児クラスからも見るができます。信頼できる大人のもと赤ちゃんたちは自らの発達にあった環境で過ごしています。新宿せいがでは、ズリバイ、はいはい時期の赤ちゃんは手の届く所、目の届く所に置かれたおもちゃに興味関心が生まれるように、その時期の赤ちゃんの環境はあえておもちゃを散らかすという環境設定をすることで、それを刺激しています。

続きの記事は、[こちら](#)からどうぞ。

「10の姿②」（自立心）についても紹介がなされています。

（報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢）

●過去のバックナンバー

第72号

第47回保育環境セミナー前編

第73号

第47回保育環境セミナー後編

第74号

『聴福庵』__特別企画「妖怪特集」

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
＼ QRコードからお願いします。／